

74 期
環境レポート



FUJITA

株式会社新潟藤田組

1. 環境方針

株式会社新潟藤田組 環境方針

株式会社新潟藤田組は、エネルギーの効率的運用による環境負荷の低減と、産業廃棄物の排出を抑え、建設業としての事業活動を通じて以下の環境方針に基づき、新潟地域の環境対策に取り組み、地域社会の持続的発展に貢献できる企業を目指します。

1. 当社の業務運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防と環境保護を推進するとともに、環境対策活動の継続的改善を図ります。
2. 当社に関連する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
 - (1)二酸化炭素排出量の削減
 - (2)資源のリサイクルや節約
 - (3)環境美化活動の実施
 - (4)法令順守
4. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境方針を全従業員に周知します。

上記の方針達成の為に目的を設定し、定期的に見直し、環境活動を推進します。

2017年3月31日
株式会社 新潟藤田組
取締役社長 藤田直也

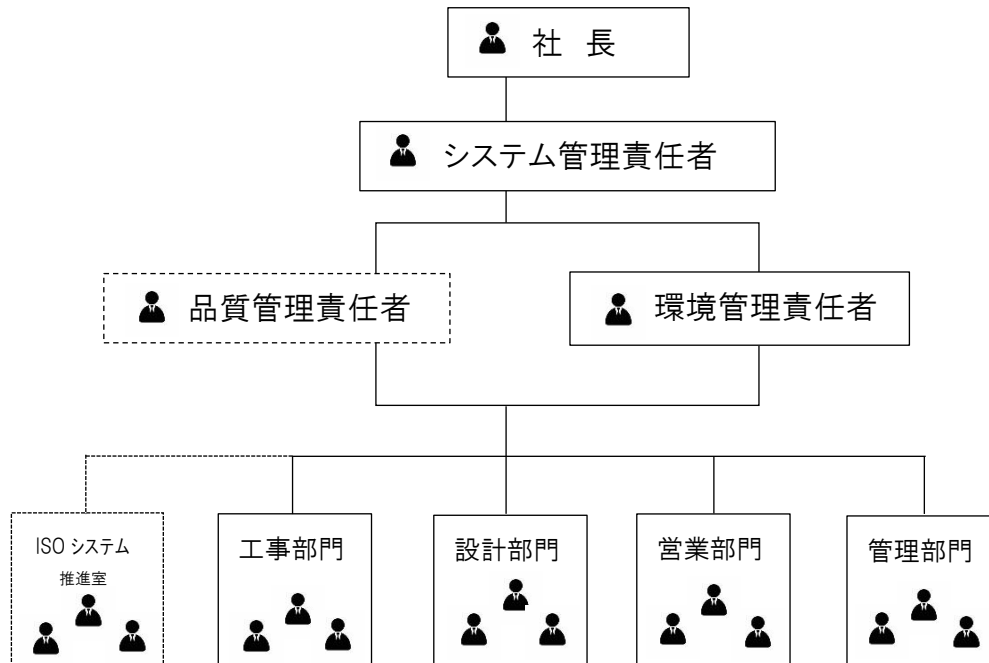
2. 企業概要 ・ 取り組み体制

● 企業概要

社 名 : 株式会社 新潟藤田組
 代表者 : 取締役社長 藤田 直也
 所在地 : 新潟県新潟市中央区白山浦2-645-1
 電 話 : 025-266-1166
 資本金 : 9,000万円
 従業員数 : 87名(令和5年4月現在)
 創 業 : 大正14年10月

● 環境活動の取り組み体制

当社は、下図の組織体制で環境マネジメントシステムを運用します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



新潟藤田組は「SDGs」に賛同しています。

新潟藤田組は、「我々は信頼の獲得を大切にし 会社と社員一人一人が 共に成長し発展し 建設事業を通じて社会に貢献する」という経営理念の基、SDGsの取り組みに賛同し、目標達成に貢献してまいります。事業活動のあらゆる側面と社会貢献活動を通じて、社会が抱える問題の解決を目指します。

SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」で、社会が抱える問題を解決し、2030年までに持続可能な世界を実現するための「17のゴール」と「169のターゲット」で構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

《 新潟藤田組の SDGs への取り組み 》



自然エネルギーを活用し、
環境に優しい会社を目指します。

- ・ 太陽光発電による再生可能エネルギーの持続的な普及への貢献
- ・ 土質改良「土のリサイクル」、土壤汚染対策の実施
- ・ ZEH、高気密高断熱住宅、省エネ住宅
(断熱等性能等級 4、一次エネルギー消費量等級 5)
- ・ ISO14001 マネジメントシステムによる、CO2・電力使用量・事務用紙使用量削減への取り組み
- ・ 環境美化活動への取り組み
(公園整備、信濃川をきれいにする会「クリーン作戦」参加、NPO 森林ボランティア参加)

3. 事業における環境活動

● Plan (計画)

■方針にもとづき以下の目標に向かって取り組みます。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②資源の節約
工事受注量を考慮した算出を行い、昨年度以下にする。
- ③美化活動の実施
美化活動の定例実施
- ④法令順守
環境法令遵守

● Action (見直し)

■見直し、改善を図ります。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②資源の節約
工事受注量を考慮した算出を行い、昨年度以下にする。
- ③美化活動
昨年同様に実施
- ④法令遵守
昨年同様に違反等皆無にする

● Check (点検)

■目標と実績とを比較します

対象期間 4年3月1日～5年2月28日

- 二酸化炭素排出量
本社屋上の自家消費型太陽光システムの導入により、発電した電力を自社内で消費
前年度実績比 16,819kwh 減少
- ガソリン使用量
前年度実績より 3,333ℓ減少
- コピー用紙の使用量
使用枚数/完成工事高比で前年度実績より 0.000006 減少 (ペーパーレスの推進)
- 美化活動
美化活動の定例実施
実績:本社周辺・近隣公園のゴミ拾い、アダプト活動の実施
- 法令遵守
環境法令遵守の確認
実績:環境法会の違反等無し

● Do (実行)

■具体的な取り組み事項

- ①二酸化炭素削減の取り組み
 - ・発電設備等
太陽光発電設備の活用
 - ・空調設備・運用等
クールビズ・冷暖房のこまめなオンオフ・業務効率化による節電
空調設定を温度湿度で管理する
冷房 28℃以上、暖房 21℃以下(厳冬期 24℃以下)
ドライ湿度 80%以上、風力(弱)での運用
本社エアコン室内機コンティニュームシート設置
 - ・照明設備・運用等
高効率照明設備の活用
単独スイッチの活用
こまめな消灯・業務効率化による節電
 - ・車両選定・運用等
低燃費車への入替
ハイブリッド車でのガソリン使用量の削減
アイドリングストップの実施
燃費向上運転の指導・心がけ
冷暖房の使用状況改善
 - ・その他
啓発掲示物等の掲示
- ②資源の節約への取り組み
 - ・コピーFAXの運用等
両面印刷、裏面印刷によるコピー用紙の削減
ミスコピー撲滅運動の実施
電子化・ペーパーレス化の推進
 - ・その他
啓発掲示物等の掲示
 - ・資源の有効活用等
ゴミ完全分別実施
- ③美化活動の実施
 - ・本社周辺及びキング公園の日々のゴミ拾い、維持管理の実施 (冬期及び悪天候日を除く)
- ④法令遵守への取り組み
 - ・すべての作業所で環境法令を遵守する
施工前検討会での確認
担当者による遵守状況の確認
- ⑤著しい環境側面への対策
 - ・消火設備の点検管理と緊急時の対応・対策訓練実施

4. CO²排出量チェックシート (74 期実績)

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・中越(営)・西蒲(営)

●電気・ガソリン使用量

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標	達成数値 (前期に対する当期実績)
電気	72,318kwh	70,871kwh	55,499kwh	前期実績以下	-16,819kwh
ガソリン (社有車)	31,839ℓ	30,000ℓ	28,506ℓ	前期実績より 減少	-3,333ℓ

●その他環境に影響するもの

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標	達成数値 (前期に対する当期実績)
コピー用紙 (A4 換算)	369,500 枚	362,110 枚	278,000 枚	前期実績以下	91,500 枚減少
	0.000072	※2 0.000072	※3 0.000066		0.000006 減少

※2 完成工事高・使用枚数比 前年実績の 0.000072 以下にする。

前年実績(0.000072) = 使用枚数(369,500 枚) ÷ 完成工事高(5,146 百万円)

※3 当期実績(0.000066) = 使用枚数(278,000 枚) ÷ 完成工事高(4,231 百万円)

5. 74 期年間成果

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・中越(営)・西蒲(営)

●電気・ガス・ガソリン

□ 電気

前期より 16,819kwh 減少。

74 期は比較的降雪量が多く気温の低い日が続いたが、社員の高い節電意識により室温管理をこまめに行い、前期より使用量削減できた。75 期もより一層の節電意識と業務効率化に努めるなど消費電力の削減に努める。また、71 期に設置・稼働開始した西蒲技術センターの太陽光発電設備および 74 期に設置・稼働開始した自家消費型太陽光発電設備により、昨期に引き続き発電量が電気使用量を上回る結果となった。

□ ガソリン

ガソリン使用量は前期より 3,333ℓ減少。

省エネ車への入替え、省エネ運転、アイドリングストップ活動の推進を行い燃費維持が出来た。数値目標とはしていないが、参考数値として引き続き全社にて取り組んでいく。

●その他環境に影響するもの

□ コピー用紙

当期実績 0.000006 減(=使用枚数÷完成工事高)。

完成工事高と使用枚数比で前期実績以下を目標とする。

具体的な施策では、ミスコピー撲滅運動、白紙裏紙の活用、電子化・ペーパーレス化の推進等。

・ ゴミの完全分別(本社)

本社分別実施 100%。

啓発掲示物等の設置。分別処理と対応するゴミ箱の明示等(可燃ごみ、不燃ごみ、再生紙、シュレッダー。)

・ 環境美化活動

本社周辺及びキング公園を清掃可能な天候の日には毎朝実施。

アダプトプログラムの実施。

信濃川をきれいにする会「クリーン作戦」参加。

NPO 森林ボランティア参加。